

報道関係者各位

2010年8月9日
Lunandscape 株式会社

Geckoエンジン 1.9.1.11 を搭載

Lunandscape 6.2.1 ORION リリース

— 重要度「最高」の7件を含む11件の Gecko エンジンのぜい弱性を改善 —

ウェブブラウザを提供する Lunandscape 株式会社は本日 Lunandscape6.2.1 を公開しました。Lunandscape6.2.1 は 11 件のぜい弱性を改善した最新版の Gecko エンジン 1.9.1.11 (Firefox3.5.11 相当) を搭載しています。Lunandscape6.2.0 以前のバージョンをご利用の方は、ぜい弱性改善のために 早急にバージョンアップされることを推奨いたします。

また、Lunandscape6.2.1 では Internet Explorer8 をご利用の方を対象に Trident の表示モードの 自動切り替え機能も追加されました。この新機能により、Trident 利用時のサイト表示の互換性をさらに高めています。この他 84 件の改善・仕様変更・不具合修正を行い、利便性と安定性を高めています。

Lunandscape6.2.1 ORION ダウンロードサイト

<http://www.lunandscape.jp>

1. Gecko エンジン(バージョン 1.9.1.11)について

7月21日に公開された Gecko バージョン: 1.9.1.11 では、11件のぜい弱性に関する改善が行われました(7 件の重要度「最高」のぜい弱性、1 件の重要度「中」のぜい弱性、3 件の重要度「低」のぜい弱性)。Lunandscape は Gecko バージョン: 1.9.1.11 に対応することにより、Gecko エンジン利用時のセキュリティをさらに向上いたしました。

2. Trident モードの「自動切り替え」に対応

Lunandscape6.2.1 では Trident モードの「自動切り替え」に対応しました。この機能は Internet Explorer8 の「互換モード」と同様なものです。Trident の表示モードをサイトに応じて Internet Explorer7相当、Internet Explorer8 相当に自動に切り替えることにより、サイト表示の互換性を自動的に向上させることができます。

※Internet Explorer7 に最適化されたウェブサイトは Internet Explorer8 では適切に表示されない場合があります。このようなサイトを自動的に判別し、Internet7 互換モードに自動で切り替える機能です。

3. ぜい弱性に関する改善の詳細

Gecko エンジンを開発するオープンソースコミュニティ mozilla.org が公表した、Gecko エンジン 1.9.11 のぜい弱性に関する修正は以下となります。

- 重要度:高
 - さまざまなメモリ安全性の問題
 - DOM 属性の複製によるリモートコードの実行
 - NodeIterator における解放後の問題
 - プラグイン引数 EnsureCachedAttrParamArrays を通じたりモートコードの実行
 - nsCSSValue::Array インデックスの整数オーバーフロー
 - nsTreeSelection のダングリングポインタを利用したりモートコードの実行
 - 不正な PNG 画像を使用したりモートコードの実行
- 重要度:中
 - Web ワーカーimportScripts を通じたクロスサイトデータ漏えい
- 重要度:低
 - 複数のロケーションバー偽装問題
 - CSS を利用したクロスサイトデータ漏えい
 - エラーメッセージのスクリプトファイル名からのクロスサイトデータ漏えい

4. 改善、仕様変更、不具合修正

Lunandscape6.2.1 では Gecko エンジンの更新や Trident モードの「自動切り替え」対応も含め 86 件の改善、仕様変更、不具合修正を行っています。これらの対応により、Lunandscape6.2.1 はさらに利便性と安定性を向上させています。